



独立行政法人理化学研究所 仁科加速器研究センター
第19回RIBF核物理セミナー

RIKEN Nishina Center for Accelerator Based Science
The 19th RIBF Nuclear Physics Seminar

コールドフュージョン法による超重核合成での障壁 Barrier for cold-fusion production of superheavy

市川隆敏氏(森田超重元素研究室)
Dr. T. Ichikawa (Superheavy Element Laboratory)

超重核合成では蒸発残留断面積が非常に小さくなるために、入射核の最適な入射エネルギーをどのように選ぶのかが非常に重要である。したがって、最適な入射エネルギーを予測することが出来るモデルを構築する必要がある。重核の蒸発残留断面積を理論的に見積もるためには、入口チャンネルの融合障壁と出口チャンネルの分裂障壁の高さが重要となる。これらの高さを統一したモデルで計算し、実験から得られた系統性と比較する。またコールドフュージョン法を用いる利点について、計算から得られた新しい知見を述べる。

Apr. 25 (Tue), 2006 13:30-
RIBF Conf. Hall, RIBF Bldg. 2F

The seminar will be given in Japanese
Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer
seminar@rarf.riken.jp

<http://rarfaxp.riken.jp/~seminar>

Sponsored by RIKEN Nishina Center and RIKEN Seminar